

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	C型肝炎	J Hosp Infect. 82(2012) 158-163	スペインにおけるC型肝炎ウイルス(HCV)伝播に関する報告。スペインのマジョルカ島において、同一の装置で血液透析を受けた2人のスコットランド人で起きた急性HCV感染は、スペイン人の医療従事者が感染源であると判明した。この報告は、腎臓血液透析装置での医療従事者から患者へのHCV伝播に関する最初の報告である。
2	E型肝炎	Hepato Res. 42(2012)870-878.	E型肝炎ウイルス(HEV)の伝播経路に関する報告。日本を含む先進国では、土着のHEV感染の伝播経路は不明確であり、土着HEVの公衆衛生への影響は十分に検討されていない。本研究では、北海道で発生した急性E型肝炎の小集団発生感染経路について検討を行った。2006年に網走で発生した3例のHEV感染者から分離されたウイルスについて検討したところ、2004年に隣接する北見で発生したHEV感染で確認されたジェノタイプ4と極めてよく類似していた。同様の集団発生は、将来的に再発する可能性があるため、感染源と感染経路は、公衆衛生のために早急に明らかにすべきである。
3	E型肝炎	HPS Weekly Report. 10 Aug. 2012	英国におけるE型肝炎に関する報告。2010年以降、英国においてE型肝炎が増加している。かつては流行地への旅行者においてよくみられたが、特に近年は非旅行者における感染が過半数を超えている。感染者より同定されたジェノタイプ3は、ブタより同定されたウイルスと類似していた。最近の研究では、ウイルスを含有した、ブタ由来の食品がヒトへの感染源ではないかと示唆されている。
4	E型肝炎	J Clin Microbiol. 50(2012)2888-2893.	フランスの野生ブタ(イノシシ)におけるE型肝炎ウイルス(HEV)血清反応陽性率に関する報告。林業労働者593名、野生ブタ421匹においてHEVの血清反応陽性率を調べたところ、林業労働者の31%及び野生ブタの14%で陽性であった。ヒトのHEV陽性率は、年代、地域、職業によって異なり、野生ブタの陽性率は地域に関連付けられていた。HEV感染はフランスの林業労働者において高頻度で発生しており、その程度は地域によって異なっていた。
5	インフルエンザ	AASV News Alert. Aug 1, 2012	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年7月8-14日にインディアナ州で開催された農業フェアでブタ及びヒトにて呼吸器疾患が発生し、州保健局が検査を行った。フェアへのブタ提供者及びその家族で呼吸器疾患を発症した4例の検査を行ったところ、すべての患者においてH3N2vが検出された。また、分離されたH3N2vに対して部分ゲノム解析を行った結果、インフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスと同一のM遺伝子を有するウイルスであることが確認された。
6	インフルエンザ	AASV News Alert. Aug 15, 2012	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年8月10日、疾病予防管理センター(CDC)は、4つの州で計153例のH3N2v感染者が確認されたことを発表した。153例の内訳は、インディアナ州で120例、オハイオ州で31例、ハワイ州及びイリノイ州で各1例である。128例(91%)は18歳未満であった。すべての患者においてブタとの直接接触があった。
7	インフルエンザ	AASV News Alert. Aug 22, 2012	米国におけるブタインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の発生状況に関する報告。ブタとの接触に関連したH3N2v感染が、メリーランド州、ペンシルバニア州及びウィスコンシン州で新たに確認された。これにより、全米9州で計230例のH3N2v感染が確認されたことになる。ブタ由来のこのウイルスには、2009年に流行したインフルエンザA型(H1N1)ウイルスのM遺伝子の配列が含まれている。
8	インフルエンザ	AASV News Alert. Aug 29, 2012	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の発生状況に関する報告。政府の公衆衛生担当官は、ブタ由来のインフルエンザの感染が増え続けており、そのうち3例ではヒトからヒトへの感染が疑われることを明らかにした。また、2012年8月26日、疾病予防管理センター(CDC)の担当官は、H3N2v感染者が7月までの276例からさらに52例が加わったと発表した。これまでのところ、全米10州で感染が認められている。
9	インフルエンザ	AASV News Alert. Sep 5, 2012	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)ウイルス感染の報告。2012年8月31日、疾病予防管理センター(CDC)は、H3N2v感染の患者は7月の時点から新たに289例が確認されたことを発表した。そのうち15例が入院し、1例が死亡したことも明らかにした。大部分の患者は18歳未満であり、発症前にブタとの接触があった。CDCは、5歳未満の小児、65歳以上の高齢者、妊婦等の免疫系が弱くなっている場合や慢性疾患(喘息、糖尿病又は免疫不全)を有する場合は、ブタの展示会を避けることを推奨した。さらに、豚肉や豚肉加工製品を食しても感染しないことを改めて強調した。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
10	インフルエンザ	AASV News Alert. Sep 12, 2012	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)の発生状況に関する報告。2012年7月12日から9月6日までの間に、10州において296例のH3N2v感染症例が報告されている。16症例が入院を要し、1例が死亡した。症例の多くは発症前にブタとの接触があった。ヒトからヒトへの感染を疑わせる事例は特定されているものの、持続的なヒト-ヒト感染は認められていない。
11	インフルエンザ	Emerging Infectious Diseases. 18(2012) 1519-1521.	米国におけるインフルエンザA(H1N1)に関する報告。ヒトにおいてインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスが発見されてから5カ月と経たないうちに、米国内の農業見本市の健康なブタから同一のウイルスが検出された。2008年中は見本市のブタの鼻スワブからウイルスは検出されていなかったが、2009年になると多くのブタの鼻スワブからウイルスが検出された。農業見本市においてヒトとブタが接触することにより、インフルエンザA型ウイルスの地理的及び異種間の蔓延が助長される可能性がある。
12	インフルエンザ	http://emergency.cdc.gov/HAN/han00325.asp	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の発生状況に関する報告。2012年7月12日から8月3日までの3週間に、3州において16症例のH3N2v感染が確認された。H3N2vは2011年7月に発見され、これまでに29症例が確認されている。また、これら29症例のすべてから、インフルエンザ(H1N1)2009パンデミックウイルスM遺伝子を有するH3N2vが分離されている。症例の多くはブタとの接触があったことが報告されている。
13	インフルエンザ	http://www.cdc.gov/flu/spotlights/h1n2v-cases-mn.htm	米国におけるインフルエンザA(H1N2)変異型(H1N2v)感染の報告。ミネソタ州保健当局により、H1N2v感染症例3例が報告された。このウイルスは、インフルエンザ(H1N1)2009パンデミックウイルスのM遺伝子を保有していた。これらの患者は農業フェア会場でブタとの長時間の接触があった。3例のうち2例の患者には様々な基礎疾患があるハイリスク患者で、重篤な合併症が引き起こされた。2例のうち1例は入院したが、現在は3例とも回復している。
14	インフルエンザ	http://www.cdc.gov/flu/spotlights/h3n2v-more-cases.htm	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。米国疾病予防管理センター(CDC)は、米国において新たに12例のH3N2v感染が発生し、オハイオ州で初めての死亡例が報告されたことを発表した。死亡した患者は複数の基礎疾患を持つ高齢者で、祭りでブタに直接接触していた。本ウイルスのヒト-ヒト感染は限られており、散発的に発生しているが、集団内での持続的なヒト-ヒト感染は認められていない。
15	インフルエンザ	http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-cases.htm	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。米国疾病予防管理センター(CDC)は、2011年7月～12月の間に12例のH3N2v感染が発生し、2012年1月～9月の間に11州全域で307人が感染したことを発表した。これらの感染のほとんどは、農産フェアにおけるブタとの直接接触に関連していた。本ウイルスのヒト-ヒト感染は限られており、集団での持続的な感染拡大は認められていない。
16	インフルエンザ	http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-outbreak.htm	インフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染のリスク因子に関する報告。2012年7月より、米国の多数の州において、2009H1N1パンデミックウイルスのM遺伝子を含んだH3N2vのアウトブレイクが発生している。感染症例の調査から、主要なリスク因子はブタとの長時間の接触であることが示唆され、ほとんどの感染が農業フェア等で起きている。ヒト間での感染は限局的に発生しているが、現在のところ持続した感染は生じていない。臨床症状はほとんどが軽度なものであるが、入院や死亡に至る可能性はある。5歳以下の小児、喘息や糖尿病、心臓病のある患者、免疫抑制患者、妊婦、及び高齢者は重篤な合併症に対するハイリスク患者である。
17	インフルエンザ	J Clin Microbiol. 51(2013) 601-602.	中国におけるブタのインフルエンザA型ウイルスに関する報告。近年、広東省において、トリ由来のインフルエンザA型ウイルスの新規3種がブタから単離された。そこで、この地域のブタにおいて、トリ由来インフルエンザA型ウイルスに対する血清反応を検討した。その結果、この地域のブタにおいて、H3、H4及びH6に対する陽性反応が認められたが、H5に対する陽性反応は認められなかった。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
18	インフルエンザ	MMWR. 61(2012)785-789	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の発生状況に関する報告。2012年7月にインディアナ州において、H3N2vウイルスが検出され、その後、7月12日から9月28日までの間に、10州において306例のH3N2v感染症例が報告されている。306例のうち、245例(80%)がインディアナ州とオハイオ州で発現している。1症例が死亡し、16症例が入院を要した。症例の多くはブタとの接触があったことが報告されており、ブタから同定されたインフルエンザA(H3N2)ウイルスは、ヒトから検出されたH3N2vウイルスと遺伝子上は類似していた。少数ではあるがヒトからヒトへの感染が疑われる症例が認められているが、地域社会における伝播は認められていない。患者年齢の中央値は6歳で、全症例の93%(284例)が18歳以下であった。また、3例のインフルエンザA(H1N2v)ウイルス感染と1例のインフルエンザA(H1N1)ウイルス感染が報告されている。これら4例では症状発現の1週以内にブタとの接触があったことが報告されている。
19	インフルエンザ	PIG PROGRESS. Jul 27 2012.	米国におけるブタインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年7月8-14日にインディアナ州で開催された農業フェアでブタ及びヒトにて呼吸器疾患が発生し、州保健局が検査を行った。フェアへのブタ提供者及びその家族で呼吸器疾患を発症した4例の検査を行ったところ、全ての患者においてH3N2vが検出された。また、分離されたH3N2vに対して部分ゲノム解析を行った結果、インフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスのM遺伝子を持ったウイルスであることが確認された。
20	インフルエンザ	PIG PROGRESS. Aug 03 2012.	ハワイにおけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年7月31日、ハワイ州保健局は、ブタとの接触のある仕事に関わるマウイ島の住民1例がH3N2vに感染したことを明らかにした。
21	インフルエンザ	PIG PROGRESS. Aug 08 2012.	オハイオ州南西部のButler郡の共進会におけるブタインフルエンザ発生を受け、オハイオ州農務当局がColumbusにおける共進会を監視していることの報告。
22	インフルエンザ	PIG PROGRESS. Aug 20 2012.	米国におけるブタのインフルエンザに関する報告。最近の調査によると、2009年のミネソタ州の農業フェアにおいて、健康に見えるブタの20%以上がインフルエンザに感染しており、同様に、サウスダコタ州の農業フェアでも感染したブタが見つかったことが判明した。また、2012年7月12日から2012年8月9日までに、H3N2v感染者が新たに153例確認された。
23	インフルエンザ	PIG PROGRESS. Oct 01 2012.	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)の発生状況に関する報告。米国疾病予防管理センターは、H3N2v感染が米国内で305例にのぼり、そのほとんどの患者が発症前に農業フェアでブタに接触していたことを明らかにした。オハイオ州では感染患者の11例が入院しており、これはH3N2v感染に係る入院者数全体の69%を占める。入院した11例のうち、死亡した1例では深刻な症状が認められたが、残りの10例はすぐに退院している。
24	インフルエンザ	ProMED-mail 20120725.1214922	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年7月8-14日にインディアナ州で開催されたカウンティフェアでブタ及びヒトにて呼吸器疾患が発生し、州保健局が検査を行った。フェアへのブタ提供者及びその家族で呼吸器疾患を発症した4例の検査を行ったところ、全ての患者においてH3N2vが検出された。分離されたH3N2vに対して部分ゲノム解析を行った結果、インフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスのM遺伝子を有することが確認された。
25	インフルエンザ	ProMED-mail 20120726.1216502	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年7月8-14日にインディアナ州で開催されたカウンティフェアでブタ及びヒトにて呼吸器疾患が発生し、州保健局が検査を行った。7月18日、フェアへのブタ提供者及びその家族で呼吸器疾患を発症した4例の検査を行ったところ、全ての患者においてH3N2vが検出された。7月21日、分離されたH3N2vに対して部分ゲノム解析を行った結果、インフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスのM遺伝子を有することが確認された。
26	インフルエンザ	ProMED-mail 20120803.1227435	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染に関する報告。オハイオ州保健農業当局は、インフルエンザ感染に類似した症状を呈する10名の患者を調査していることを発表した。いずれの患者も南オハイオ郡の共進会に参加しており、州の保健局及びButler郡の保健局は、H3N2vに感染している可能性があるとしている。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
27	インフルエンザ	ProMED-mail 20120805.1228593	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。米国疾病予防管理センター(CDC)は、米国において新たに12例のH3N2v感染が発生したことを発表した。2011年7月から2012年8月までの間に、H3N2v感染は計29例となる。高リスクの背景を有する3例が入院した。CDCは、ブタと接触する場合やブタと同じ環境にいる場合に講ずるべき措置を挙げ、引き続き注意を呼び掛けている。
28	インフルエンザ	ProMED-mail 20120807.1232623	米国におけるインフルエンザに感染したブタに関する報告。オハイオ州農務当局は、オハイオ州南西部のButler郡の共進会におけるブタインフルエンザの発生のため、Columbusにおける共進会を監視していることを明らかにした。また、インフルエンザ感染が2頭のブタで認められ、共進会から持ち主の元へ移送された。
29	インフルエンザ	ProMED-mail 20120811.1239668	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年7月12日から2012年8月9日までに、153例のH3N2v感染者が新たに確認された。153例の内訳は、インディアナ州で120例、オハイオ州で31例、ハワイ州及び伊利ノイ州で各1例である。128例(91%)は18歳未満であった。すべての患者においてブタとの直接接触があった。また、8月7日、米国疾病予防管理センター(CDC)は、衛生試験所を対象にCDC Flu rRT-PCR Dx Panelの結果の解釈に関する最新情報を発表した。さらに、実臨床ではH3N2vの検出にRIDTが使用されていることから、CDCはH3N2vの7種類のサブタイプを用いてRIDTの診断精度を評価した。その結果、H3N2vサブタイプを検出できたのは4種類のRIDT(Directigen, Sofia, Veritor, Xpect)のみであった。医療従事者はRIDTのH3N2vの検出感度が様々であることに注意し、RIDT陰性でもH3N2vに感染していないと考えるべきではない。
30	インフルエンザ	ProMED-mail 20120817.1249415	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。米国政府は、2012年8月10日までに、H3N2v感染者が154例にのぼることを明らかにした。大部分は、農業共進会でブタと直接又は間接的な露出(接触)をもった子どもたちであった。臨床的に、これらの症例は季節性インフルエンザと類似していた。これまでに得られた知見からは成人は免疫を有しているが、小児は免疫を有していないようである。また、季節性インフルエンザワクチンはH3N2vに対する交差免疫を小児にも成人にも付与しない。
31	インフルエンザ	ProMED-mail 20120819.1251848	健康に見えるブタでもインフルエンザウイルスに感染していることがあるとの報告。最近の調査によると、2009年の農業共進会では展示されたブタ57匹のうち11匹が陽性反応を示し、サウスダコタ州のある共進会では検査された45匹のブタのうち1匹が陽性反応を示した。
32	インフルエンザ	ProMED-mail 20120819.1251882	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。ペンシルバニア州の保健当局は、ブタに由来するH3N2v感染の確定例4例及び疑い例6例が報告されたことを発表した。いずれの患者も農業フェアに参加した若年者であり、ヒト-ヒト感染を示す証拠はない。
33	インフルエンザ	ProMED-mail 20120820.1252968	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の発生状況に関する報告。ブタとの接触に関連したH3N2v感染が、メリーランド州、ペンシルバニア州及びウィスコンシン州で新たに確認された。これにより、全米9州で計230例のH3N2v感染が確認されたことになる。ブタ由来のこのウイルスには、2009年に流行したインフルエンザA型(H1N1)ウイルスのM遺伝子の配列が含まれている。
34	インフルエンザ	ProMED-mail 20120821.1255415	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染に関する報告。全米10州において、この1か月以内に200例以上のH3N2v感染が報告されている。多くは若年者であり、かつ農業フェアへの参加者であった。これまでにヒト-ヒト感染は確認されていないが、ブタ小屋において飲食をしないことやブタ小屋を訪れた後に手を洗うことを呼びかけるだけの当局の対応に疑問を持つ専門家もいる。
35	インフルエンザ	ProMED-mail 20120826.1264634	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の発生状況に関する報告。政府の公衆衛生担当官は、ブタ由来のインフルエンザの感染が増え続けており、そのうち3例ではヒトからヒトへ感染が疑われることを明らかにした。また、2012年8月26日、疾病予防管理センター(CDC)の担当者は、H3N2v感染者が7月までの276例からさらに52例が加わったと発表した。これまでのところ、全米10州で感染が認められているが、米国外では感染は認められていない。ミネソタ大学の専門家は感染を最小化するために農業フェアでのブタの展示会は差し控えるべきとの認識を示したが、CDCの担当者はブタの展示会を中止する必要はないとしている。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
36	インフルエンザ	ProMED-mail 20120830.1273921	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。ミネソタ州ダコタで、州内で2例目のH3N2v感染者が確認された。感染者は州内の農業フェアでブタ1頭を購入した男性であった。同じ会場内では他に感染者は確認されていない。その後、インフルエンザ様の症状を呈したブタ3頭が豚畜舎から発見され、ウイルスについて検査が実施されている。
37	インフルエンザ	ProMED-mail 20120831.1275553	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。ウイスコンシン州の保健当局は、2012年8月31日、H3N2v感染が州内で初めて確認されてから2週間経過した現在、14例のH3N2v感染が認められていることを発表した。いずれの患者もブタとの接触があり、回復に向かっている。臨床症状は季節性のインフルエンザと似ており、発熱、食欲不振、咳等が含まれる。
38	インフルエンザ	ProMED-mail 20120901.1276404	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。米国疾病予防管理センター(CDC)は、米国において新たに12例のH3N2v感染が発生し、オハイオ州で初めての死亡例が報告されたことを明らかにした。死亡した患者は複数の基礎疾患を持つ高齢者で、祭りでブタに直接触れていた。本ウイルスのヒト-ヒト感染は限られており、散発的に発生しているが、集団内での持続的なヒト-ヒト感染は認められていない。
39	インフルエンザ	ProMED-mail 20120908.1286721	米国におけるインフルエンザA(H1N2)変異型(H1N2v)感染の報告。ミネソタ州保健当局により、H1N2v感染症例として3例が報告された。このウイルスは、インフルエンザ(H1N1)2009パンデミックウイルスのM遺伝子を有していた。これらの患者は農業フェア会場でブタと長時間の接触があった。3例のうち2例の患者は、様々な基礎疾患があるハイリスク患者であり、重篤な合併症が引き起こされた。2例のうち1例は入院したが、現在は3例とも回復している。H1N2vウイルスはタミフル及びリレンザに感受性がある。
40	インフルエンザ	ProMED-mail 20120911.1290389	米国におけるブタ由来のインフルエンザH1N2感染の報告。ミネソタ州のフェアに関連した4症例目のブタ由来のインフルエンザH1N2感染が確認された。10代の男性患者は、8月23日から26日までブタ小屋で去勢ブタを展示し、帰宅してから4日後に発症した。入院の必要はなかった。フェアに関連した4症例のすべてについて、発症前にブタ小屋で長時間を過ごしており、そのいずれもが発症後は早期に回復していた。4症例から分離されたウイルスは、8月に米国内で警戒されたいたH3N2変異型ウイルスとは異なる。
41	インフルエンザ	ProMED-mail 20120917.1297468	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)及びA(H1N2)変異型(H1N2v)の発生状況に関する報告。米国疾病予防管理センター(CDC)は、ブタ由来のH3N2vへの感染が新たに9例発生し米国内で305例となること、また、ブタ由来のH1N2vへの感染がミズーリ州で1例、ミネソタ州で3例が発生していることを発表した。CDCによると、H3N2v感染の305例のほとんどが農業フェアでブタに曝露しており、ヒト-ヒト感染と思われる少数のH3N2v感染例が認められるものの、ヒトにおける伝播の継続は認められていない。
42	インフルエンザ	ProMED-mail 20120918.1299231	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。ミネソタ州保健当局は、新たに2例のH3N2v感染の発生を発表した。2例ともミネソタ州フェアのブタ小屋を9月2日に家族とともに訪れ、9月5日に発症しており、いずれも入院せず既に回復している。これは、ミネソタ州フェアに関連した、H3N2v感染の初めての報告である。
43	インフルエンザ	ProMED-mail 20120918.129881	中国における鳥インフルエンザH5N1の報告。中国の農業省は、南部の広東省湛江市市内にて2012年9月11日から2012年9月18日までの間に、14,050羽のアヒルが鳥インフルエンザH5N1に感染し、6,300羽が死亡したと発表した。地方行政当局は市内の感染地区及び死亡が確認された地域を封鎖し、家禽を処分して除染を行った。中国では鳥インフルエンザが頻繁に発生しており、家禽の個体数も世界最大であり、多くの地方農場では家禽と近接して農場労働者が暮らしている。
44	インフルエンザ	ProMED-mail 20120923.1305983	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)の感染の報告。米国疾病予防管理センター(CDC)等による調査の結果、2011年中において、発見されていない多くのH3N2v感染例があったことが示唆された。2011年8月のペンシルベニア州のフェアに関連して、H3N2v感染の確定例3例、可能性例4例、疑い例82例が認められたものの、疑い例のほとんどは調査前に回復したためウイルスは確認されなかった。しかし、今回、4歳以下の小児6名のうち4名の疑い例において、ウイルス抗体が陽性であったことが確認された。この結果より、疑い例のうち少なくとも数例はH3N2vに感染していたことが示唆された。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
45	インフルエンザ	ProMED-mail 20120926.1311060	カナダにおけるH1N1変異型(H1N1v)感染の報告。ブタに関連する仕事に従事する男性1例においてH1N1v感染が確認された。患者はカナダ及び米国においてブタに関連する仕事に従事しているが、感染場所は不明であった。患者は入院し、その後回復している。また、患者の家族や友人で症状を呈する者はいない。このH1N1vは、今夏、米国でヒトへの感染が確認されたブタ由来のインフルエンザウイルスと同じく、パンデミックH1N1ウイルスのM遺伝子を有している。証明されていないが、M遺伝子を有することによりヒトへの感染性を獲得したのではないかと推測がある。
46	インフルエンザ	ProMED-mail 20120927.1312769	インドにおけるインフルエンザA(H1N1)感染の報告。マドヤ・パラデシュ地域において、ブタ由来のインフルエンザA(H1N1)に感染した28例のうち7例が死亡した。近隣のインドール地域では、同じウイルスに感染した患者5例のうち全例が死亡している。政府高官は、医療従事者や国民に対して、感染症への対処を十分に行うことを呼びかけた。
47	インフルエンザ	ProMED-mail 20121011.1337739	米国におけるインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)及び(H1N1)変異型(H1N1v)感染の発生状況に関する報告。米国当局は、H3N2v感染症例について、新たに数例が確認されたが死亡例はないことを発表した。ヒト-ヒト感染が疑われる事例が認められるものの、ヒト-ヒト感染が継続しているとの報告はない。また、2012年8月、米国で2例目(1例目は2011年)のH1N1v感染が確認された。患者は女性で、ブタと接触する職業であり、入院することなく回復している。H1N1vがブタの間で流行していることから、更なるヒト症例の発生が予想される。
48	インフルエンザ	ProMED-mail 20121026.1367194	米国におけるインフルエンザのブタでの感染に関する報告。オハイオ大学の研究によると、53の農業フェアにおいて3年間にわたってブタを検査したところ、12のフェアで少なくとも1頭のブタはインフルエンザに陽性であったことが判明した。また、2012年7月に開催されたオハイオ州の農業フェアに関連して報告されたヒト感染症例から得られたインフルエンザA(H3N2)ウイルスは、ブタのウイルスとほぼ完全に一致していた。このことは、ヒトとブタの間に当該ウイルスの伝播を予防する生物学的バリアがほとんど存在しないことを示唆している。
49	インフルエンザ	Rev Inst Med Trop San Paulo. 54(2012)311-314.	ブラジルにおけるイヌのインフルエンザ感染に関する報告。ブラジルのサンパウロ州の農村地域及び都市地域で流行したイヌのインフルエンザ感染に関連して、両地域のイヌについて、インフルエンザウイルスに対する抗体の有無を調べた。農村地域のイヌではインフルエンザA(H3N2)と同型の、H7N7及びH3N8に対する抗体が検出され、都市地域のイヌではヒトインフルエンザA型(H1N1)及びヒトインフルエンザA型(H3N2)に対する抗体が検出された。
50	インフルエンザ	THE PIG SITE. Aug 08 2012	米国におけるインフルエンザ流行に関する措置の報告。インディアナ州の農業フェアでは、ブタの展示イベントを中止する措置が講じられた。また、州の委員会は、他の農業フェアでも対策が講じられたことを明らかにした。州の獣医によると、フェア会場へブタが運ばれる際、ブタの体温を測定してベースラインとして記録し、仮に105F°を超えている場合には会場に入れさせない措置が講じられている。
51	インフルエンザ	THE PIG SITE. Aug 10 2012	米国におけるブタインフルエンザA(H3N2)変異型(H3N2v)感染の報告。2012年8月9日、米国疾病予防管理センターは、H3N2v感染が113例報告されたことを発表した。すべての患者で発症前にブタとの接触があった
52	インフルエンザ	THE PIG SITE. Sep 20 2012	米国におけるインフルエンザA(H1N2)変異型(H1N2v)感染の報告。ミネソタ州保健当局により、H1N2v感染症例2例が報告された。これらの患者は農業フェア会場でブタとの長時間の接触があった。
53	インフルエンザ	J Virology. 86(2012)8872-8878.	インフルエンザウイルスの系統発生解析に関する報告。2009年から2012年の間に北米のブタから分離されたインフルエンザウイルスの674のM配列、388のHA及びNA配列並びにヒトから分離された8つのH3N2変異型ウイルスのM、HA及びNA配列の系統発生解析を行った。ヒトから分離されたH3N2変異型ウイルスと同様のH3、N2及びpMセグメントの組合せをもつ34のブタのインフルエンザウイルスが確認された。ヒトのH3N2変異型ウイルスのN2セグメントは、1998年にH3N2ブタ系統に関連したN2セグメントに由来するのではなく、2001年から2002年の季節性ヒトH3N2ウイルスの再集合によって得られたN2セグメントに由来することが示唆された。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
54	ウエストナイルウイルス感染	http://www.examiner.com/article/west-nile-virus-outbreak-exceeds-5-200-cases	米国におけるウエストナイルウイルス(WNV)感染の発生状況に関する報告。2012年のWNVの流行は全米に広がった。CDCの発表によると、2012年11月20日までに死亡234例を含む、感染症例5,207例が報告された。5,207例のうち2,643例(51%)において、髄膜炎や脳炎などの神経浸潤性の疾患が見られた。2012年の流行は、2003年以後では最大の流行である。なお、2003年の感染者数は9,862名、死亡者数は264名であった。
55	エボラ出血熱	ProMED-mail 20121116.1412991	エボラウイルスの異種間でのウイルス伝播に関する報告。最近の研究により、ザイルエボラウイルスが直接的な接触なしに、エアロゾル又は飛沫の吸入によってブタからサルに伝播したことが示されている。研究者らは、空気感染によりザイルエボラウイルスが特にブタから霊長類への伝播に寄与するという仮説を支持しており、動物からヒトへの伝播について評価する必要があると考えている。また、研究者らは、過去にフィリピンにおいて食肉処理に関わっておらず、感染ブタへの接触もない養豚従事者がレストンエボラウイルスに血清反応陽性であったことも、この仮説により説明がつくと考えている。
56	エボラ出血熱	Scientific Reports. 2(2012)811	エボラウイルス(EBOV)の異種間でのウイルス伝播に関する報告。64週齢のランドレース種の子ブタにEBOV(Kikwit 95)を経口鼻接種し、4頭のカニクイザルがいる部屋にもどし、観察をした。接種後のブタの症状は過去の感染試験と同等であった。また、EBOVはすべてのカニクイザルに伝播し、サルの血液及びスワブからウイルスが検出された。これは、実験的にEBOVの異種間での伝播を確認した最初の報告である。
57	狂犬病	ProMED-mail 20120419.1107099	ブラジルにおけるウシ狂犬病の報告。ブラジル南部のリオグランデ・ド・スル州において、ウシ狂犬病の流行が発生した。2012年1月から3月の間で12の市町村の23地点で発生が確認されており、1980年代以降2番目に大きな発生である。ブラジル農務省事務局によると、吸血性コウモリのナミチスイコウモリからの感染による狂犬病ウイルスが原因で死亡した動物は1400頭に上る。事務局はナミチスイコウモリの捕獲及び対処を強化している。
58	口蹄疫	http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=12633	台北における口蹄疫に関する報告。発生日 2012年2月19日、最初のアウトブレイクの確定日 2012年2月21日、報告日 2012年11月24日、原因 口蹄疫ウイルス O型。Puwan地区の農場においてアウトブレイクが発生した(開始日 2012年11月19日)。ブタにおいて感染の疑い例2521頭、死亡例43頭であり、感染源については不明若しくは結論に至っていない。
59	口蹄疫	ProMED-mail 20120915.1295388	中国における口蹄疫の報告。2012年9月13日、中国のチベット自治区の農業省は、ウシ及びブタの口蹄疫による感染が確認されたと発表した。Nyingchi県Bomi郡の村において、ウシ123頭及びブタ108頭が口蹄疫に感染していることが判明した。また、国立FMD研究所がサンプルを検査した結果、口蹄疫O型に感染していることが確認された。地方行政当局は汚染地区の滅菌消毒と封鎖を行い、ウシ及びブタ計612頭が安全に遺棄された。
60	口蹄疫	ProMED-mail 20121218.1457421	中国における口蹄疫の報告。2012年12月17日、農業省は、江蘇省において口蹄疫による感染が確認されたと発表した。ブタ12頭が感染しており、口蹄疫O型に感染していることが確認された。感染拡大防止のため、ブタ338頭が安全に遺棄された。
61	ロタウイルス	Infect Genet Evol. 12(2012)1676-1684	欧州において初めてのG5P[6]遺伝子を持つロタウイルスの報告。ブルガリアにおいて進行中のロタウイルスのサーベイランスシステムの中で、珍しいロタウイルスA株であるRVA/Human/BG/BG620/2008/G5P[6]が同定された。この株は、G5-P[6]-I1-R1-C1-M1-A8-N1-T1-E1-H1というゲノム構成を示し、ヒトとブタ由来のRNA遺伝子を保有していた。しかし、この地域でのブタロタウイルスの遺伝子配列情報は十分でないため、遺伝子の伝達様式について調査することはできなかった。この株は接種されているワクチンとの間で中和抗体を共有していないため、今後も注意して継続的なモニタリングを行うことが必要である。
62	ロタウイルス	J Med Microbiol. 61(2012) 990-997.	台湾で分離されたロタウイルスに関する報告。急性の脱水症状を伴う下痢で入院した台湾の小児から分離された、遺伝子型P[6]のロタウイルスについて解析を行った。VP4、VP6、VP7及びNSP4遺伝子の系統解析により、3種類のG4P[6]株、並びにG5P[6]株及びG12P[6]株がそれぞれ1種類ずつ同定された。G12P[6]株の遺伝子は、一般的なヒトのロタウイルスと類似していた。一方、G4P[6]株及びG5P[6]株は、ブタのロタウイルス、並びに過去にブタ由来と報告されているヒトのP[19]株と高い類似性を示した。ブタのロタウイルスに類似した株に感染した患児は、入院患児全体の1%程度である。ブタからヒトへの変異株の循環や伝播は、公衆衛生上の問題となりうる。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
63	ウイルス感染	Can J Vet Res. 76(2012) 157-160.	中国におけるブタ由来の脳心筋炎ウイルス(EMCV)単離の報告。中国中東部の養豚場において、臨床症状を有する子ブタからEMCVが単離された。研究により、このウイルスはマウスに対して高い病原性を示し、マウスに脳炎を発症させ死に至らしめることが観察された。しかし、子ブタに対しては感染力を有するものの、重度の臨床症状を引き起こすほどの病原性は確認されなかった。単離されたウイルスはNJ08株サブグループ1Aであり、韓国、欧州及び中国におけるその他の分離株のゲノムと高い相同性を有していた。
64	ウイルス感染	J Gen Virology. 94(2012) 570-582	米国におけるブタのアストロウイルス(AstV)の検出率に関する報告。米国19州225農場における509頭のブタの糞試料について、ブタAstVの型1～5の検出率をRT-PCRを用いて解析した。その結果、ブタAstVは米国のブタで検出され、さらに、1頭のブタに対して異なる型の重感染が頻りに観察された。また、本研究では新規のブタAstV3株が分離され、これはブタAstVの他の型との同一性は低い一方、ミンクAstV及びヒトAstVとの高い同一性が認められた。
65	ウイルス感染	OIE Technical Factsheet: Schmallenberg virus Update	Schmallenbergウイルスの疫学的観察と研究に関する報告。Schmallenbergウイルスに関する、発見(2011年11月)から現在(2012年5月)までの疫学、免疫学、微生物学に関する情報が整理された。Schmallenbergウイルスは、ブニヤウイルス科オルソブニヤウイルス属であり、エンベロープを持つマイナス一本鎖RNAウイルスである。疫学的調査と血清学的研究によると、本ウイルスは反芻動物に影響を及ぼすが人畜共通感染は引き起こさないことが示されている。昆虫によって伝播し、動物の子宮内で垂直感染することも知られている。臨床症状は動物種によって異なるが、多くの反芻動物においてウイルスは先天性奇形を引き起こすことが報告されている。
66	BSE	ProMED-mail 20120407.1093352	スイスにおけるBSE感染の報告。スイス獣医学当局のサーベイランスプログラム活動により、ベルンにおいてBSE感染のウシ1頭が確認された。当局によると、従来の型ではなく非定型病原体による感染とされ、2005年に禁止された一部の動物飼料による感染ではなかった。
67	BSE	ProMED-mail 20120425.1113102	米国の非定型BSE陽性例に関する米国農務省(USDA)の声明。USDA獣医局長は、USDA動植物検疫所がサーベイランスシステムによりカリフォルニア州中央部の乳牛1頭で国内4例目となるBSEを確認したことを明らかにした。当該ウシの屠体は州当局によりカリフォルニアのレンダリング施設に保管されており、処分される予定である。食料供給及びヒト健康へのリスクはなく、また牛乳によりBSEは伝播しないとされた。
68	BSE	ProMED-mail 20120501.1119136	米国で発生したBSEに関する報告。米国農務省(USDA)は、カリフォルニア州の乳牛で確認されたBSE症例について、「L型」BSEとして知られるものであったと発表した。この型は米国ではじめて報告されるものである。この型については、動物性飼料を介する感染はこれまでに報告されていない。
69	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases. 18(2012)2091-2092	牛海綿状脳症(BSE)のウシの唾液から異常プリオンタンパク質(PrP ^{Sc})が検出されたことに関する報告。serial protein misfolding cyclic amplification(sPMCA)を用いて、BSEのウシ3頭から発症前後に採取された唾液サンプルを検討した。剖検時に採取されたサンプル及びBSEの臨床症状が初期のウシから採取されたサンプルからPrP ^{Sc} が検出された。また、増幅過程を3回繰り返すことにより、発症2ヶ月前に採取された唾液からもPrP ^{Sc} が検出された。BSE感染ウシの唾液、乳、血液及び脳脊髄液に感染性があるとの疫学的エビデンスは存在しないが、現在のデータからは、BSE感染ウシの体液や排泄物による感染リスクの可能性を排除することはできない。
70	異型クロイツフェルト・ヤコブ病	http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?contentid=2012/04/0132.xml&contentidonly=true	米国におけるBSEに関する米国農務省(USDA)の声明。USDAは、USDA動植物検疫所がBSEサーベイランスシステムによってカリフォルニア州中央部の乳牛1頭について米国で4例目となるBSEを確認したと発表した。当該ウシの屠体は州当局によりカリフォルニアのレンダリング施設に保管されており、処分される予定である。食料供給及びヒトの健康へのリスクはなく、また牛乳によりBSEは感染しないとされた。
71	レンサ球菌感染	ProMED-mail 20120922.1304708	ベトナムにおけるレンサ球菌感染の報告。ハノイ在住の51歳男性が、ブタレンサ球菌 <i>Streptococcus suis</i> に感染後、敗血症性ショックで死亡した。男性は生のブタの血スープを飲食した後に昏睡状態に陥り、皮下出血を起こしていたと報告されている。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
72	炭疽	ProMED-mail 20120814.1949	中国における炭疽の報告。中国の江蘇省連雲港の沿岸都市にあるGnmazhen村において、約10例の炭疽感染が確認された。村はすぐに閉鎖され、患者は近くの病院に隔離された。村民の話では、感染者の多くが女性であった。感染源と考えられるウシは炭疽菌に感染していたとみられ、ウシの体全体には赤い腫物があったという。
73	ブルセラ病	ProMED-mail 20121214.1451750	米国における野生ブタのブルセラ病及び仮性狂犬病感染に関する報告。米国野生生物部は、Felsenthal野生生物保護区の野生ブタ46頭を検査したところ、10頭がブルセラ病に、16頭が仮性狂犬病に感染していたことを発表した。保護区の生物学者は、保護区内で猟を行う場合、動物に触れる際には適切に対処する必要があると注意を呼びかけている。
74	細菌感染	Emerging Infectious Diseases. 18(2012) 631-633.	米国における <i>Bartonella</i> 種に関する研究報告。米国カリフォルニア州ロサンゼルス市の都市部で200匹のラットを捕獲し調査したところ、数種の <i>Bartonella</i> 種(<i>B. rochalimae</i> 、 <i>B. tribocorum</i> 、 <i>B. queenslandensis</i> 等)が検出された。また、これまでに確認されている <i>Bartonella</i> 種とは遺伝的に関連をもたない型も検出され、新たな <i>Bartonella</i> 種の存在が示唆された。さらに、ラットが保有する <i>Bartonella</i> 種のうち、 <i>B. rochalimae</i> 及び <i>B. tribocorum</i> は、発熱や脾腫を発症したヒトからも確認されていることから、これらが病原性を有することが推測され、こうした <i>Bartonella</i> 種が都市部のげっ歯類の中で循環していることは、公衆衛生上の問題であるとされた。
75	細菌感染	J Clin Microbiol. 50(2012) 680-687.	米国における <i>Campylobacter jejuni</i> に関する研究報告。米国において高病原性かつ抗テトラサイクリンの <i>Campylobacter jejuni</i> のクローンであるclone SAが反芻動物に出現し、ヒツジの流産に関与していると考えられている。clone SAとヒト疾患との関連を確認するため、流産したヒツジからの分離株(ヒツジclone SA)とヒトからの分離株とをパルスフィールドゲル電気泳動及び多座配列タイピングを用いて比較したところ、ヒツジclone SAと区別できないヒト分離株が確認された。生乳の摂取による胃腸炎等の疾患に、clone SAが関連することも示唆されており、clone SAが動物からヒトへと人獣共通感染すると考えられた。clone SAは、ウシの排泄物、健康なヒツジの排泄物や胆汁、ウシ及びヤギの流産症例等から検出されており、反芻動物で広く分布していることが示唆されている。
76	旋毛虫症	PIG PROGRESS Sep 02 2012	アルゼンチンにおける旋毛虫症の報告。Tacacha地区で5例(うち4例は親族)の旋毛虫症が確認されたことを受け、保健当局は、市民に対して、不正流通業者や、適正な消毒措置が講じられていない商店からの豚肉の購入のリスクについて注意を促した。なお、感染源は特定されていない。
77	旋毛虫症	PIG PROGRESS Oct 23 2012	ロシアにおける旋毛虫症の報告。ロシアの消費者保護機関(Rospotrebnadzor)は、クラスノヤルスク地方のノリリスクにおいて旋毛虫症が発生し、2012年10月23日時点で21名が感染し、女性患者1名が死亡したことを発表した。すべての患者が市内の市場で豚肉又は豚肉加工製品を購入しており、それらの製品は私設の養豚場から出荷されたものであった。当該養豚場は既に出荷を停止しており、Rospotrebnadzorは引き続き疫学的調査を進めている。
78	旋毛虫症	PIG PROGRESS Oct 26 2012	ロシア及びアルゼンチンにおける旋毛虫症の報告。ロシア連邦捜査局の広報によると、クラスノヤルスク地方で発生した旋毛虫症(19名が感染確定、うち1名が死亡)に関連して、食品衛生に関する規則への遵守状況について捜査が開始された。また、アルゼンチンでは59例の旋毛虫症が確認されており、いずれの患者も同一の売店から豚肉加工製品を購入していたことが判明している。
79	旋毛虫症	PIG PROGRESS Dec 18 2012	スペインにおける旋毛虫症の報告。旋毛虫症は、欧州域内から根絶されたと考えられているブタの病気であるが、再興が疑われている。狩猟の際に感染した症例が確認されている。特にカサレスにおいては措置が講じられ、引き続き調査が行われる。
80	旋毛虫症	ProMED-mail 20120728.1218772	アルゼンチンにおける旋毛虫症の報告。ラ・パンパ州の州都サンタローサの近郊で旋毛虫に感染したブタが確認され、陽性反応を示した11頭のブタが州当局によって処分された。旋毛虫症は、ブタなどを宿主とする旋毛虫の感染によって引き起こされる感染症である。この時点で、この州でのヒトにおける感染は確認されていない。
81	旋毛虫症	ProMED-mail 20120901.1276315	アルゼンチンにおける旋毛虫症の報告。Tacacha地区で5例(うち4例は親族)の旋毛虫症が確認されたことを受け、保健当局は、市民に対して、不正流通業者や、適正な消毒措置が講じられていない商店からの豚肉の購入のリスクについて注意を促した。なお、感染源は特定されていない。

感染症定期報告感染症別文献一覧表(医療機器 平成24年10月1日～平成25年3月31日)

ID	感染症(PT)	出典	概要
82	旋毛虫症	ProMED-mail 20121025.1364159	ロシアにおける旋毛虫症の報告。ロシア連邦捜査局の広報によると、クラスノヤルスク地方で発生した旋毛虫症(19名が感染確定、うち1名が死亡)に関連して、食品衛生に関する規則への遵守状況について捜査が開始された。ロシアの消費者保護機関が市場から回収した豚肉製品を検査したところ、当該製品を販売した売店では、殺菌や伝染防止に関する規則が満たされていないことが判明している。
83	旋毛虫症	ProMED-mail 20121213.1450403	スペインにおける旋毛虫症の報告。旋毛虫症は、欧州域内から根絶されたと考えられているブタの病気であるが、ベナラバ、ガウシン、特にカサーレスでの再興が疑われている。最新の感染例はベナラバの野外で狩猟を行った際に感染している。
84	旋毛虫症	ProMED-mail 20121222.1465196	アルゼンチンにおける旋毛虫症の報告。衛生当局は、リオネグロ州バリローチェ市内において、食肉処理された豚から旋毛虫が確認されたことを発表し、市民に対して適正な査察を受けていない非公式の売店や市場からの豚肉製品の購入を控えるよう呼びかけた。なお、バリローチェ市内では旋毛虫症のヒト感染例は確認されていない。